

観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>五、修飾・被修飾の関係がわかる</p> <p>1.の誤答としては、「花が」と答えたものが多い。次に多い誤答は、「大がらな」である。正答率37%。</p> <p>2.の文は、文の構造が複雑なのにもかかわらず、比較的よくできている。誤答で多いのは、「人道的に」「生みだした」にかかるとしたものである。正答率は66%である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 修飾・被修飾の関係の指導は、単なる文の構造の分析のみにとどまらず、朗読の場合など、言葉の切れ・続きを意識させることなども効果的である。作文などさまざまな書く機会をとらえて、指導することも大切であろう。</li> </ul>
<p>六、場面の情景や人物の気持ちを読み取る</p> <p>1.は場面の様子を想像させる問題である。誤答にはイヤウが多い。これは、文章全体でとらえることができずに、部分だけでとらえたためであろう。正答率58%。</p> <p>2.は人物の気持ちを読み取る問題である。誤答は、イトウが多い。これは、詩の中に流れる中心的な感動をよくとらえることができないためであろう。正答率は、48%である。</p> <p>3.は情景を想像させ、詩の主題をとらえさせる問題である。誤答の傾向には、特に偏りは見られない。正答率は、30%と低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 文章を読む時、常に情景や人物の様子・気持ちを思い浮かべながら読ませることが大切である。</li> <li>◦ 過去の生活経験を想起させることなども、大切な指導の手がかりとなるだろう。</li> <li>◦ 詩の中の心情をとらえさせるには、詩情や感動の焦点をはっきりとつかませることが大切であろう。</li> <li>◦ 詩の情景をとらえさせるためには、一字一句もおろそかにせず注意深く読み、そこから受ける印象をイメージ化する技能や態度の育成が大切であろう。</li> </ul>
<p>観点⑤（文・文章を読む）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ この観点の中では段落分け(32%)、要点の読み取り(31%)の正答率が、比較的低い。いずれも正しい読解のために欠くことのできない技能であるので、十分身につくよう繰り返し指導することが必要であろう。</li> <li>◦ 登場人物の気持ちをとらえさせるためには、その人物の会話や様子に着目させたり、その人物の置かれている場面を想像させたりすることが大切である。</li> <li>◦ 情景を読み取らせる指導では、その情景の時間や場所に目させながら児童の経験なども想起させることなどによって、イメージ化していくことが大切である。正答率は51%である。</li> </ul>	
観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>⑥ 文・文章を書く</p> <p>一、文章の中で指示語・接続語を正しく使う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 高学年になると、論理的文章を書く機会が</li> </ul>